

ふじしろ政夫と共に県政・市政を変えよう

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース10年10月号
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

県議会を変えよう！県政を市民の手に



市議会議員
ふじしろ政夫

県議会、県政って何してるの？

と市民からよく言われます。見えてこないのです。市議会・市政は身近かに自分達の生活のなかに感じることができ、国会は新聞、テレビ等のマスコミで伝わってきます。なぜだろう？県の情報が市民に入っていないからです。でも、市民生活にかかわる多くの事柄が県政とかかわっています。

例えば、船取線・木下街道の歩道の整備、国道464号線、北千葉道路の推進、鎌ヶ谷大仏踏切、くぬぎ山踏切の改善などすべて県の事業です。今議会でとりあげられていたトレーニングセンター前の歩道整備も、粟野へ向う船取線の歩道状況の悪さをどう改善するのかも、県の仕事そのものです。

県議会の中で、県政の中でどう対応されているのか、もっともっと鎌ヶ谷市民に情報が入ってこなければなりません。“市政＝県政”の視点で県政を私達市民の手にとりもどさなければ鎌ヶ谷の市民自治も千葉県の市民自治もつくり出すことはできません。

市政の課題＝県政の課題

2期8年間市議会議員として活動させていただき、市政の課題＝県政の課題という構図も見えてきました。

特別養護老人ホームの整備に関して、今県議会では老人施設整備費として5億5600万円増額され、139床の特養ベッド数を増加させる補正予算が出されました。



鎌ヶ谷市内では100床の特養老人ホームの整備が平成23年度中に予定されています。財政的に担保するのが県議会での議決です。小児救急の整備め鎌ヶ谷の地域医療をよくする為に医療圏間の医療資源相互活用を実現させるのも千葉県「保健医療計画」が大きく係わってきます。東葛地区に計画が進んでいる重度障害者の施設も県が主体です。北総鉄道の運賃値下げ問題も千葉県が大きく係わっています。

市民の声がとおる県政へ

溯って昨年3月から森田県政となりましたが、今県政は、市民に情報を出さない。市民の声を聞かない、市民と議論しないと市民（県民）参加がなくなりつつ

あります。又県議会も、国とは違う市民、県民サイドの議会としてどう市民・県民サービスを実現していくかが問われています。県議会は現在89名の議員、市民・県民の立場からの声がおりにく

い状況です。市民派を県政へ送り、県政本来の地方自治としての県議会へと変えていきましょう。

ふじしろ政夫は、そんな思いで決意すると共に、県政・議会の課題を解決していきたいと思っております。

かずさアカデミアパーク民事再生

一 県は約60億円を放棄一

千葉県新産業三角構想（S58）の一角を荷う“かずさアカデミアパーク構想”の会議室とホテル部門の第三セクター（株）かずさアカデミアパークが破綻、平成22年1月25日に民事再生手続き開始の申し立てをしました。

受け継ぐスポンサーは『(株) ホテルオークラ、日本電波塔(株)、(株) マザー牧場、グリーンコア(株)』の共同再建スポンサーに決定（8/6）、民事再生計画が示されました。

- ①50万円を超す債権額の99%を免除
- ②資本金97億5000万円については裁判所の許可を得て全額減少

- ③スポンサー企業4社が3億円を出資してスタート

県は、平成18年以降直貸した分16億3000万円、債権買取分8億2000万円など総額24億6800万円の99%は免除し（権利放棄）、1%の2470万円のみが弁済される。さらに県の出資金35億円、全額を減額となり、トータルで約60億円の県の財産がなくなるようになります。

県職員の説明を聞きましたが、失敗の原因が明確でないし、反省もない、責任の所在もはっきりしない……ないないづくしの“もたれ合い”。結果的には総額約150億円の債権・出資金がパーに！

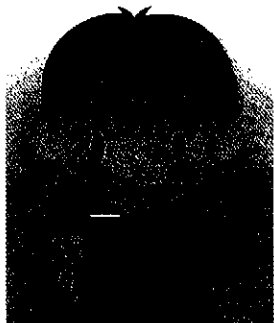
かずさアカデミアパーク構想の抜本的見直しと責任の所在の明確化が必要です。

ふじしろ政夫の一般質問

☆フッ素洗口の危険性理解せず

急性中毒として嘔吐、意識障害、慢性中毒として貧血、DNAの損傷をひきおこす「フッ化物」を薄めて洗口（ブクブクうがい）することの危険性をまったく認めない

市当局、これからもフッ素洗口を推進すること。むし歯予防の為2003年厚労省の「フッ化物洗口ガイドライン」が出され、口腔学会等が推めているフッ化物の洗口は本当に子供達にとって安全なのだろうか？本当に推進者がいっほ効果があるのだろうか？質問しました。



フッ化物ナトリウム溶液でブクブク

福祉部長：フッ化物洗口は、むし歯の予防効果や安全性、費用便益率等が高く、優れた公衆衛生的特性がある。毎日法は250ppmのフッ化物ナトリウム溶液、保育園や幼稚園で。週1回法は900ppmを用い小中学校で実施です。

最小中毒量0.1~0.5mg/kgで

ふじしろ市議：市当局は5mg/kg（見込中毒性）を基準に安全性を考えているが見込み中毒性は「死亡を含めた毒性」であり、むし歯予防としては最小中毒性の体重1kgあたり0.1mg~0.5mgを基準にすべきです。

WHOは6才未満は禁忌と報告

福祉部長：フロリデーション（水道水にフッ素を）を実施していない日本にはWHOの報告はあてはまらない。

ふじしろ市議：フロリデーションは世界で30ヶ国前後しか実施していない。世界中に警告するWHO（世界保健機構）の禁忌は日本にも適応されるはずです。

※鎌ヶ谷市は、市立保育園すべてでフッ素洗口を実施しています。

フッ素洗口を実施していない佐倉市、浦安市の方がむし歯が少ない

ふじしろ市議：フッ素洗口を県下でもっとも実施している鎌ヶ谷市の小6のむし歯の数は0.907本。洗口実施していない佐倉市は0.679本、浦安市は0.746本です。フッ素洗口以外の方法でもむし歯予防ができています。

洗口の効果は7%（有意性なし）

ふじしろ市議：フッ素入歯磨剤が90%の日本では、フッ素洗口による効果はほとんどありません。

コ克蘭レビュー（2003.5）の発表からも明らかです。

福祉部長：フッ化物洗口を実施する必要性は極めて高いものです。歯科医師会と協議しながら推進します。

※ ふじしろのコメント

鎌ヶ谷市は国・歯科医師会の言う安全性と有効性を繰り返すだけ。今回の質問を危険性、有効性への問題提起としてすらうけとめない。これでいいのだろうか？

☆男女混合名簿で男女平等教育を

今年の5/17千葉県教育委員会は、堂本知事時代の通知を廃止しました。男女平等教育・混合名簿が否定されたのかのごとき誤解が生じましたが、県の教育委員会・男女共同参画課は、はっきりと「男女平等教育の推進の政策に一切の変化なし」「混合名簿はこれまでどおり各学校・教育委員会の選択です」と説明しました。鎌ヶ谷市の教育委員会としてはどう理解しているのか質問しました。

男女共同参画社会へつながる混合名簿

教育長：学校教育の使命は人格完成です。その為「平等」「人間尊重」を基本に教育します。男女平等教育は、学校教育の中では男女混合名簿として要請されました。

性別で役割を固定化しない

市民部長：男女共同参画を推進する一つの方法として男女混合名簿があります。「男性は女性より優位」という性別で役割を固定化しないようにすることが必要です。

市内では5校で

生涯学習部副参事：混合名簿として使っている学校は市内5校です。

男女平等教育・混合名簿推進の意義があります

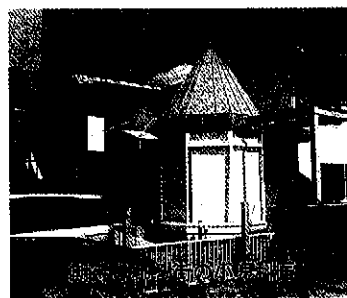
ふじしろ市議：5/17の通知は人権尊重や男女平等教育、混合名簿を廃止するということですか。

生涯学習部副参事：いいえちがいます。

ふじしろ市議：政策に変更はなく、男女平等教育は推進し、混合名簿推進しても問題はなく各校の選択ということと理解してよいですね。

生涯学習部副参事：そうです。

☆初期救急医療機関がない



鎌ヶ谷市は、鎌ヶ谷総合病院のオープンを機に、これまで船橋市との間で共同しておこなっていた夜間休日診療をやめてしまいました。（市の経費カット1500万円）。24時間365日小児救急を含めた救急医療

機関として248床のベッドで開院した鎌ヶ谷総合病院は、今、小児科、産科、耳鼻咽喉科、等の診療科が整っていません。一私立病院に、夜休診から救急までの地域医療をたくしてしまう構図は今、諸々の問題を露呈させています。鎌ヶ谷市の地域医療をどうつくっていくか質問しました。

救急体制は十分でない

福祉部長：二次医療輪番制を残しつつも、夜間休日診療体制撤退時の前提である鎌ヶ谷総合病院の24時間365日の救急体制が十分とはいえない状況です。

連携パスは推移していない

ふじしろ市議:千葉県の医療計画で示されている地域医療連携システムは鎌ヶ谷市ではどのくらいすすみましたか。

福祉部長:病診連携、紹介等は70~80%実施ですが、ガン、糖尿病等の連携パスは5%以下で運用が推移していません。

医療資源の相互活用を

ふじしろ市議:東葛南部医療圏で小児初期診療機関がないのは鎌ヶ谷市のみです。初期から二次を含めて、周辺市の医療資源を相互に活用すべきです。

夜休診を含めて地域医療をどこで担うか再検討すべきです。又、市民が参加する地域医療を検討する場が必要です。

予防接種を鎌ヶ谷総合病院でも

ふじしろ市議:鎌ヶ谷総合病院の土井小児科医は予防接種が出来なくては小児の初期体制がとりづらい、ぜひ予防接種をやらせてくれと言っているが?

福祉部長:医師会と協議して

ふじしろ市議:予防接種の委託権限は市にあります。十分検討して下さい。

9月議会での議論

☆乳幼児医療費助成小学3年までに拡大

:県の補助金制度が小学校就学前から小学校3年までに拡大されたのにもとづき、鎌ヶ谷市も同様にするものです。対象者は6500人から9500人に。経費も1600万円の増(12月~3月)で167,239千円の補正となりました。12月から実現されます。診療時基本の300円のみ負担となるわけですが、所得制限を導入しているの、適応されない家庭もあるのは問題だと思われま

☆給食センター(1万食)建設PFIへ

:学校給食センター(2ヶ所)の老朽化にともない、建替えが検討されてきました。市民をまじえた検討会議では、自校式がもっともよいとしましたが基本構想で1ヶ所のセンター方式と記載されました。建替方法が議論される中、先日9/7市はPFIによって実施していくとの方向を示しました。



☆補正予算で31億円の基金残高に

:交付税4億8800万円増、臨時財政対策債4億9600万円増、平成21年度決算からの繰越10億1294万円と歳入面でのプラスを生かし、基金へ15億8000万円つみたて残高31億円になりました。今後の厳しい経済状況、又給食センター、耐震工事等の諸事業へ備えるものです。

☆平成21年度決算認定

:歳入279億6900万円、歳出264億1900万円、実質収支13億6200万円、経常収支比率93.3%と持続可能な財政へと一歩近づきました。

集中改革プラン21の行革で平成21年度は約21億円の財政効果を生み出し、さらに地方交付税24億2000万円、臨時財政対策債13億3000万円と国からの財源で良い結果を出せました。

アジアのダイナミズム の中に立位置を!



西部邁、佐高信、寺島実郎による“世界を知る力・次の日本へ”のシンポジウムがありました。

西部氏は保守の立場から戦後の欺瞞性、偽善性と隷属的属国の状況を激しく批判。IT革命だなどとサギ的証券の動きは、狂っているとしかいえないとも指摘しました。そして、「小泉構造改革に熱狂し」「格差批判のマニフェストで大きく動き」今回の参議院選では、「批判した小泉とまったく同じ政策の“みんなの党”に脚光をあびせる」この間の動きに対してこの国の“言葉に対する杜撰さ”を嘆きました。

「アメリカは世界を必要としているが、世界はアメリカを必要としていない」

「地球上からなくなったら残念と思われる国になりたい」と日本への思いを語りました。

佐高氏は、竹中平蔵小泉政権はMHK(村上、ホリエモン、木村)を生み出しただけ。とその虚構性を批判しました。

そしてバブルの真最中にバブルに融資をしなかった北洋銀行の武井氏のような存在の大切さを語りました。

寺島氏は、佐高、西部二人の“戦後なるものの虚構”への批判をうけとる形で、日本のこれから進むべき方向性を語りました。

「冷戦後どの方向に向っていくのか?」

「日本は地勢学的に事象をみていてアメリカか中国か?と固定的にしか判断できなくなってきている。

しかるに現実にはネットワーク型の社会です」「日本の部品が台湾に行き台湾の商品が売られて台湾が豊かになり又、日本の部品も売れていくといった近隣を豊かにしていく中で日本も豊かになっていくという意識が必要です」と物の見方が語られた。



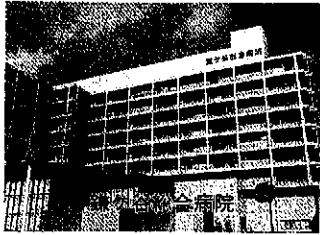
又、アジアの国々とどう向きあっていくかを定めることの必要性も語られました。

「1960年代日本の貿易、輸出の30%、輸入の39%が米国という状況から2009年貿易額は、米国と13.5%、中国と20.5%、大中華圏で30.7%、アジアとは49.5%である。」ここから何を学びとるかが大切と示されました。

そして「アジアのダイナミズムの中で、アジアの国々と重層的な関係をつくっていく。その為にも、戦後日本の総括と戦後なるものに折り合いをつけ、新しい産業経済、新しい日本の外交を構想していくことが問われている」と指摘しました。



安心できる小児救急を



24時間365日小児救急を含めた救急病院として248床のベッド数をもってオープンした鎌ヶ谷総合病院。救急患者の受入状況は、順調に推移し、月350～400件の受入れ。外来も月16,000件以上で、病院経営としてはやりきれているとのことでした。

しかし、鎌ヶ谷市との間で結んだ協定事項がまだに達成できていません。夜間小児科救急は、小児科の先生によるものは週1回、千葉西総合病院との連携によって対応中です。

新たに赴任した土江小児科部長からは、小児科における初期診療、予防接種の重要性が語られ、この領域での行政の協力が要望されました。地域医療をつくっていく上での重要なポイントが語られましたが、残念ながらその要めとなる協定事項をどう実現するかが示されなかったのは残念です。

千葉西病院との医療資源の相互活用などで一日も早い解決方法が求められます。

インターネット中継は平成25年度から

— 議会報告会は継続審査 —

市民から出されていた陳情が議会運営委員会で審議されました。陳情は議会への市民参加の視点から「議会としての報告会」を要望しましたが議運は二の足をふんで継続審議に。

又、インターネット中継については（東葛で鎌ヶ谷市だけが実施していません）なぜか、平成25年度から実施と決めました。昨年出された陳情の採択の実現が4年先とのこと。これでいいのだろうか？……議会への市民参加が初めて、議会はその機能を十分に発揮できるということが理解されていないようです。

またまた床上浸水

9/8 台風9号により、1時間雨量40mmを記録し、馬込沢地区を中心に床上7件、床下15件浸水。5日後の13日には35.5mm/hを記録し馬込沢地区、南初富地区、道野辺中央地区にて床上8件、床下12件浸水等の被害が発生しました。



台風・都市型集中豪雨によるものとはいえ、いつも浸水被害が発生する地区の人々にとっては「ガマンも限度」……「政治は水を治めること」ともいわれます。水害の心配のない街にしたいものです。

市民のこえ

北総線値下げ裁判の会

「提訴報告会」に参加して

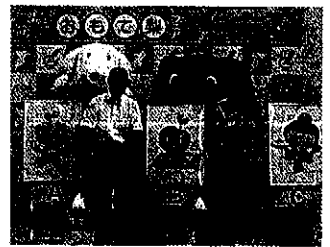
9月12日私は夫と上記の集会(白井市文化ホール)に行き、大勢の参加者と共に原告団の力強い報告を聞いて応援しました。私どもは定年退職後外出のたび北総線の高額運賃に悩まされ、とうとう6年前に鎌ヶ谷市に転居してきた身ですから、今回の行政訴訟問題は、他人事ではありません。弁護士さんから「高い運賃を払わされる不当さ！の事実が裁判の大きな力となる」と教えられました。住民からも京成電鉄の不当な運賃体系、成田高速鉄道開通して住民の通勤時間が大幅に延長した、など憤りの訴えが出て集会は盛り上がり、原告団の藤代議員が「裁判を勝利しよう」と力強い言葉でまとめられ、一層皆の意思が団結しました。

樋口 美佐子

“鎌ヶ谷の梨でおもて梨”フェア

「あきづき」「かおり」「豊水」梨の試食・即売会がイオンで行われました(9/12)

鎌ヶ谷ブランド“あきづき”の予定でしたが異常気象の影響で“あきづき”でなく、かおりと豊水が即売されました。森田知事も参加。抽選会もありました。あきづきは予約販売、「かおり」「豊水」は試食、即売。甘みも強く「おいしい」と多くの市民が購入していきました。鎌ヶ谷梨の知名度アップ、ブランド化によって農業従事者が夢をもって経営できるようになればと思われま



お知らせ

ふじしろ政夫と市政・県政を語る

県政報告：大野ひろみ・小宮清子県議

市政報告：ふじしろ政夫市議

10月24日(日) 19:30～ まなびい

☆ベシャワール会中村哲講演会「アフガンは今」

10/24(日) 19:00～ 1000円

チケットあり：ふじしろ市議

京葉銀行文化プラザ(千葉駅3分)

☆元沖縄県知事大田昌秀講演会

「沖縄の歴史から9条を考える」

10/17(日) 14:00～ 無料 佐倉厚生園(記念館)

☆反貧困・世直し大集会2010

10/16(土) 11:00～ 明治公園

☆津久井市政報告会

10/31(日) 13:30～ まなびい

□法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ市議まで

10/30 11/27 13:00～